



2026^{年度}

アジア学院学生一覧

農村指導者研修プログラム(農村開発科)



アジア学院は、1973年の創立以来、アジア、アフリカ、中南米等の「農村コミュニティリーダー」を学生として招き、リーダーシップ研修を行っている学校です。栃木県那須塩原市のキャンパスで、毎年9ヶ月間、民族、文化、宗教等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために実践的な学びを提供しています。

今年度は、14カ国から、農村指導者研修プログラムに22名、研究科に卒業生2名を迎えています。

ケニア



ヴィクター・ネネイ・レムルック

Victor Pnenei Lemluk

アフリカ教会機構 (OAIC)
Organization of African Instituted Churches (OAIC)

農業アドバイザー
Farmers Resource Person

メザ Meza

私の地域は食料不足に直面しており、現行の農法では十分な収量を得ることができません。私は生計の向上を通して地域を変革することを強く望んでいます。アジア学院では、より深い知識やリーダーシップ能力を身につけ、特に食料安全保障に向けた生産性の高い農業について、地域に良い影響を与えたいと考えています。

インド



カヴェリ・ホスル・マリガ

Kaveri Hosuru Mariga

アニケータナ知恵・環境保護財団
Aniketana Praghe Matthu Parisara

代表
C.E.O.

カヴェリ Kaveri

私の団体では、ダリット(不可触民)やアディヴァシ(先住民族)の人々と直接関わり、教育の普及と社会的平等を推進しています。アジア学院で、リーダーシップ、企画立案、社会変革、持続可能な農業等の手法を学び、コミュニティに還元することで、より手厚い教育支援、環境意識の向上、そして社会正義の実現を目指します。



クムラントウン・ンソツウン・トゥンベニ・ンツォエ

Khumlanthung Nzothing Thungbeni Humtsoe

ベトザタ青少年福祉センター
Bethesda Youth Welfare Center

コンサルタント・トレーナー
Consultant Trainer

ベニ Beni

私の地域は、自然や人々との強い絆を持ち、食や自然に根ざした豊かな文化的伝統を持っていますが、身分や部族間の対立といった課題もあります。私は、疎外された人々にカウンセリングを行う一方、畜産と堆肥化の実証も行っています。アジア学院での学びを通じて、より一層、地域の女性たちを力づける支援をしていきたいです。



ポンゴム

Pongom

チントウ基金
Chingthur Foundation

農業プログラム・マネージャー補佐
Assistant Program Manager (Farming)

ラムテュー Lamthue

私は人里離れた地域で、伝統的な農業や職人技術を守り続ける人々と共に働いています。アジア学院では、堆肥作りを含む持続可能な農業技術を学び、地域でのリーダーシップ技術を向上したいと考えています。忍耐強く信頼関係を築くことで、人々がより良い農業技術を取り入れ、気候変動に適応していけることを目指します。

マラウイ



ファイネス・チワンダ

Fynness Chiwanda

カチェレ進歩的女性会
Kachere Progressive Women's Group (KPWG)

プログラム・マネージャー
Programmes Manager

ファインローズ FynRose

私は持続可能な農業を通じて、女性や若者など社会的弱者の権利や能力を高める活動をしています。地域の人々は非常に勤勉で、その多くは女性が世帯主の家庭や小規模農家、若者たちです。アジア学院で、持続可能な農業、リーダーシップ、そして開発技術習得し、地域の貧困や不平等の根本的な原因の解決を目指します。



ジェイコブ・ジュンパー

Jacob Jumpha

ンコペ地区開発委員会
Nkope Area Development Committee
パーマカルチャー・コミュニティ・ボランティア
Permaculture Community Volunteer

ジェイジェイ JJ

私の地域は活気に満ちており、住民は伝統的なマラウイ湖での漁業を糧に生活しています。一方で、資源管理をめぐる紛争や、乾季の食料不安といった深刻な課題にも直面しています。私は農業に従事するかたわら、地域の女性たちが廃プラスチックを活用してバッグや敷物などの製品を作れるような技術研修を行っています。



パウリーン・ムウェネカウンディ

Pauline Mwenekaundi

持続可能な開発を目指す青年連盟
Youth Alliance For Sustainable Development (YASD)
農業改良普及員
Agricultural Extension Officer

パウリーン Pauline

私はマラウイ北部の農場で育ちました。私たちのコミュニティにおいて、社会的弱者を含む人々の食料自給率を向上させるためには、誰もが変革のための意思決定に加わる必要があります。私は一人ひとりのニーズを尊重し、共通の目標を見出せるよう支援し、すべての人にとって公平な解決策を模索しています。

マラウイ



ヴィクター・ンネレンバ

Victor Mnelemba

中央アフリカ聖公会シレ高地教区
Anglican Church of the Province of Central Africa, Diocese of Upper Shire

プロジェクト・オフィサー
Project Officer

ヴィクター Victor

私の故郷は人口密度が高く、多くは雨頼みの農業を行う低所得世帯です。苦境に立たされても、この人々には解決策がありません。私は変革の担い手として、変化はまず内側から始まるべきだと信じています。アジア学院で得る技術を、自分の家族と、私が仕える地域の双方の利益のために役立てたいです。



アニスマン・ゲア

Anisman Gea

ニース・プロテスタント・キリスト教会 (BNKP)
Banua Niha Keriso Protestan (BNKP)

牧師
Pastor

アニス Anis

私のコミュニティは、貧困、教育機会の制約、そして環境的な脆弱性といった社会経済的課題に直面しています。私はアジア学院で得る知識を、支援を必要とする人々と分かち合うことで、人々に祝福をもたらしたいと強く願っています。なぜなら、私は人々の生活や経済状況がどのようなものであるか、身をもって知っているからです。



ジュルピーター・ヘリー・パクパハン

Julpiter Herry Pakpahan

インドネシア・キリスト教会 (HKI) 宣教会
Huria Kristen Indonesia (HKI), The Missional Church

有機農業コーディネーター
Organic Farming Coordinator

ピーター Piter

私は北スマトラ州出身のコミュニティリーダー兼トレーナーであり、主に小規模農家の人々で構成される教会に奉仕しています。学びのコミュニティの一員として、農村の人々への奉仕、地球への配慮、そして他者と共に誠実に生きるという私の使命を分かち合いたいと切に願っています。

ミャンマー



ナイン・ルウィン・ムー

Naing Lwin Moe

パウンシー・アー研究所
Paungsee Arr Institute (PAI)
生活改良普及員
Director of Livelihood Department

ナイン Naing

私は幼いころから野菜やキノコを育て、大人になってからは収入を得るために家畜飼育を行ってきました。現在は団体にて、ダム等のインフラ整備を含め、生活に不可欠な食料の分かち合いや安全な飲料水の事業を運営しています。私の経験を村の人々と分かち合うことは、この仕事における誇りであり、大きな喜びです。



ジャ・ヌ・マイ

Ja Nu Mai

カチン・バプテスト連盟
Kachin Baptist Church (KBC)
生活改良普及員
Livelihood Project Officer

ヌー Nu

私は団体の地域開発学習センターで、農場技術指導員や生活改良普及員として携わってきました。私のコミュニティは美しい自然と豊かな土壌に恵まれています。政治的な紛争という困難に直面しています。研修後は、帰還する避難民の人々を支援するために、地域に適した技術の導入に注力したいと考えています。



ナー・シー・ラー

Na She Rah

実践的研修農場
Practical Field Study Farm
農場職員
Farm staff

シーラー She Rah

私の団体では、農業や家畜飼育といった生計支援技術を教えることで、貧困、早婚、薬物依存、不登校といった地域の社会課題に取り組んでおり、政治的紛争の最中でも、多くの部族コミュニティを対象とした支援活動を続けています。アジア学院では、多様な背景を持つ仲間と共に、困難に立ち向かう勇気と決断力を学びたいです。

カンボジア



オン・シチャン
Oun Sichan

ルーテル・ホープ・カンボジア機構
Lutheran Hope Cambodia Organization (LHCO)

プロジェクト・ボランティア
Project Volunteer

シチャン *Sichan*

私は長年、牛や鶏の飼育、そして米や野菜の栽培に従事してきました。送り出し団体では、地域の土地を持たない農民や貧困層の方々への研修を手助けしています。アジア学院では、農業に関する実践的な技術を習得するとともにリーダーシップを磨き、コミュニティがより良くなるよう提言・活動していきたいと考えています。

シエラレオネ



ジョージ・バンガリー
George Bangalie

国際フルゴスベル・フェロシップ・キャニオンヒルズ
IFGF Canyon Hills

地域開発指導員
Community Development Agent

ジョージ *George*

私は、1991年から2002年まで続いた内戦からの復興途上にある、資源の乏しいコミュニティで活動しています。教会での活動に加えて、子どもたちが学校に通い続けられるための支援を行い、地域の実験農場にも携わっています。帰国後は農業研修を拡大し、コミュニティの経済的機会を広げていきたいと考えています。

ルワンダ



クラウドディーン・ニバグウィレ
Claudine Nibagwire

ドゥファタニエ機構
Dufatanye Organization

農業指導員
Field Officer

クラウドディーン *Claudine*

私の故郷のコミュニティは貧しく、農家は小さな土地しか持っておらず、農業の知識も限られています。また、多くの子どもたちが学校に通っていないという現状があります。アジア学院で有機農業とリーダーシップについて深く学び、地元の8つの村を対象とした研修センターの運営を担っていくことが私の目標です。

カメルーン



アトンバ・ジャスティス・ンワチャン
Atomba Justice Nwchan

北西州養豚業者組合
Northwest Pig Farmers Cooperative Society (NOWEPFA)

動物保健専門家
Animal Health Specialist

アトンバ *Atomba*

豚の飼育はコミュニティを支える柱ですが、一方で豚熱の発生という大きな課題に直面しています。私は、養豚家の人々が仕事に不可欠な知識を身につけ、状況を改善できるよう、研修プロジェクトの企画・運営を手助けしています。研修後は、コミュニティの人々に笑顔を届けることを最優先に活動していきたいと考えています。

スリランカ



スジャナ・ファティマ・スマナラッナ
Sujana Fatima Sumanaratna

社会平等開発機構
Social Equality Development Organization (SEDO)

コミュニティ・オーガナイザー
Community Organizer

スジャナ *Sujana*

私の故郷は人々が互いに支え合う温かいコミュニティですが、経済的苦境や失業、民族間の緊張といった課題もあります。支援を通じて誰かが成長していく姿を見ることが私の生きがいであり、原動力です。私は、愛と思いやりに根差す、小さくとも継続的な行動が、個人やコミュニティに大きな変化をもたらすと信じています。

タイ



ナリン・チャナサイ
Narin Chanasai

ノントオ村有機コーヒー生産者組合
Ban Nong Tao Organic Coffee Community Enterprise

役員
Organization Committee Member

リン *Rin*

私のコミュニティは、農業や観光業、学生グループの受け入れなどに関わっており、収入源や宗教も多種多様です。アジア学院で、効率的な農業システムの構築方法や、経済発展と環境に配慮した農業のバランスについて学ぶことを通して、コミュニティの人々を勇気づけ、持続可能な農業に関する教育を行いたいと考えています。

ネパール



クリシュナ・ハリ・ドゥラル
Krishna Hari Dulal

アシャブミ・ネパール
Ashabumi Nepal

団体設立者
Founder

クリシュナ *Krishna*

私は同僚と共に団体を設立し、農家の人々が持つ伝統的な知識と持続可能な農業技術を融合させる活動を行っています。私自身も質素な生活を送りながら農家の人々と共に働き、信頼関係を築きつつ実践的な知識を深めています。アジア学院で自身の知識を強固なものにし、よりよい支援を地域に提供していきたいと考えています。

ウガンダ



ティリニ・ピウミカ・ラナラジャ
Thilini Piumika Ranaraja

スリランカ有機農業推進協議会
Lanka Organic Agriculture Movement (LOAM)

農場補佐
Field Assistant

ティリニ *Thilini*

私は有機農業に従事し、農家の人々との調整や研修の運営を担当しています。私のコミュニティでは、経済的不平等が資源を巡る競争を引き起こしており、さらに気候変動による降雨パターンの変化といった課題も抱えています。アジア学院では、小規模灌漑技術や水資源の保全、持続可能な有機農業について学びを深めたいです。

ウガンダ



リーガン・ロジュアン
Reagan Lojuan

カセンゲ・リバーフォード有機農業センター
Kasenge Riverford Organic Agricultural Center (KROAC)

農場長
Farm Manager

リーガン *Reagan*

私は農場長として、有機農業を基本とした優れた農業技術を学び、実践することに情熱を注いでいます。コミュニティの痩せた土壌を有機物で改良し、豊かにすることは非常に重要です。そうすることで、化学薬品への依存をなくし、コミュニティの生活水準を向上させることができます。

研究科

カンボジア

ガーナ

トレーニング・アシスタント (TA):

研究科生は学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から選ばれます。学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、トレーニングアシスタント (TA) として学生の研修を助けます。



ダナエツ・ハム

Daneth Him

合同メソジスト教会・世界宣教局
(GBGM-UMC)

General Board of Global Ministries,
United Methodist Church (GBGM-UMC)

プログラム・コーディネーター
Program Coordinator

2010卒・ダナエツ Daneth

私の仕事は、都市部のストリートチルドレン向けの事業調整から、農村部での自然農法や教会活動、女性のエンパワメントや生計向上事業への助言など多岐に渡ります。研究科生として、長年の社会福祉の実践経験を共有しつつ、アジア学院の精神がいかにして世界で奉仕するリーダーたちの原動力となっているのかを学びたいです。



ジョシュア・オフォリ・スタ

Joshua Ofori Suttah

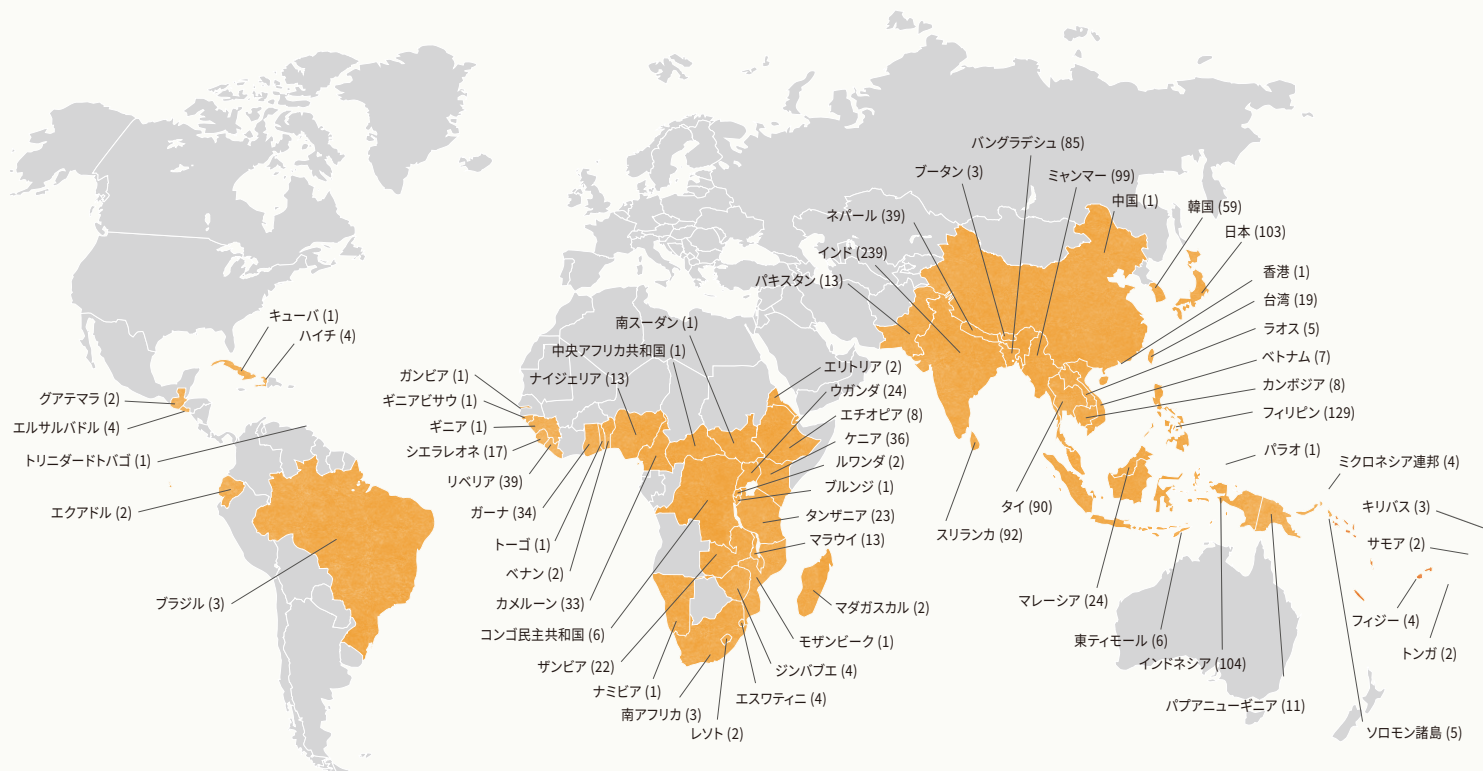
ガーナ長老教会アボコビ地区
Presbyterian Church of Ghana,
Abokobi District

農家、コミュニティ・モビライザー
Farmer and Community Mobilizer

2020卒・ジョシュア Joshua

卒業後、私は完全な有機農家へと転換し、またPLA（参加型学習・行動法）を用いて都市部への若者流出に関する分析を行い、農業を一生の仕事として選べるようなワークショップを開催しました。研究科生として、養豚管理やサーバントリーダーシップの知識を深めるとともに、寮や農場での仕事を通して学生たちを支援したいです。

世界に広がる卒業生



卒業生数は、63 カ国から 1,472 名

ご支援
ください！

みなさまの開発途
上国に対する思い
をアジア学院に託
してください

>> 郵便振替

振込口座：郵便振替 00340-8-8758

口座名義：学校法人 アジア学院

お名前、電話番号、郵便番号、住所を
ご記入ください。

>> ゆうちょ銀行

記号：10700 番号：8002711

口座名義：学校法人アジア学院

>> 足利銀行

支店名：西那須野支店

口座番号：（普通預金）112403

口座名義：学校法人 アジア学院

理事長 山本俊正

クレジットカードでの

ご寄付については：

<https://ari.ac.jp/donate/>

学校法人 アジア学院

アジア農村指導者養成専門学校

〒329-2703

栃木県那須塩原市槻沢 442-1

Tel 0287-36-3111

Fax 0287-37-5833

info@ari.ac.jp
<https://ari.ac.jp>

